

科目名	ビジネス学部(経済・経営・法を含む)・科目32	出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数)	47.1%
			(33/70)

設問項目別回答率

【I】

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア	42.4%	イ	36.4%	ウ	15.2%	エ	6.1%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア	21.2%	イ	45.5%	ウ	30.3%	エ	3.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア	3.2%	イ	6.5%	ウ	45.2%	エ	45.2%
---	------	---	------	---	-------	---	-------

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア	3.0%	イ	33.3%	ウ	24.2%	エ	12.1%	オ	27.3%
---	------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(5)この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア	3.0%	イ	39.4%	ウ	57.6%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア	18.2%	イ	42.4%	ウ	39.4%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア	21.2%	イ	57.6%	ウ	9.1%	エ	12.1%
---	-------	---	-------	---	------	---	-------

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア	18.2%	イ	54.5%	ウ	21.2%	エ	6.1%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われますか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア	21.2%	イ	51.5%	ウ	27.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(10)先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア	51.5%	イ	36.4%	ウ	9.1%	エ	3.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(11)11月の授業内で、「授業改善シート」は実施されましたか。

ア. 実施された イ. 実施されなかった、または、実施時に欠席していた

ア	57.1%	イ	42.9%
---	-------	---	-------

(12)「授業改善シート」の結果を受けて、どの程度授業が改善されましたか。

ア. かなり改善された イ. ある程度改善された ウ. あまり改善されなかった エ. 全く改善されなかった

ア	10.0%	イ	33.3%	ウ	50.0%	エ	6.7%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(13)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア	9.7%	イ	54.8%	ウ	12.9%	エ	22.6%
---	------	---	-------	---	-------	---	-------

(14)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない

ア	6.3%	イ	40.6%	ウ	34.4%	エ	18.8%
---	------	---	-------	---	-------	---	-------

(15)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア	6.3%	イ	62.5%	ウ	21.9%	エ	9.4%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(16)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

ア	31.3%	イ	37.5%	ウ	21.9%	エ	9.4%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(17)自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア	15.6%	イ	50.0%	ウ	28.1%	エ	6.3%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(18)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア	9.7%	イ	51.6%	ウ	35.5%	エ	3.2%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

【Ⅱ】

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

- (19)専門性を高めたいから (20)興味・関心を持ったから (21)友達・先輩が取ったから
(22)時間割上の都合から (23)簡単に単位が取れそうだから (24)必修だったから

(19)	33.3%	(20)	33.3%	(21)	15.2%
(22)	42.4%	(23)	9.1%	(24)	36.4%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

- (25)ビデオなど視聴覚教材の活用 (26)power pointなどのIT教材の活用 (27)上手な板書
(28)話題や例示の妥当性 (29)この中にはない (30)満足している

(25)	18.2%	(26)	6.1%	(27)	15.2%
(28)	12.1%	(29)	21.2%	(30)	30.3%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

- (31)教室での対話 (32)教室外での対話 (33)e-mail (34)オフィスアワー
(35)レポートによる感想や意見 (36)この中にはない (37)その他

(31)	21.2%	(32)	9.1%	(33)	9.1%	(34)	12.1%
(35)	9.1%	(36)	24.2%	(37)	6.1%		

①自己評価

選択式【Ⅰ】の全18項目は、

タイプ1. 教員の授業中の姿勢・技術についての項目

タイプ2. 学生が感じる授業への評価・成果についての項目

タイプ3. シラバスや教材についての項目

タイプ4. 学生自身の態度についての項目

という4タイプに分類できる。この4タイプのそれぞれについて、〈ア〉～〈エ〉の4択で答えてもらうものであり、

〈ア〉良い評価 〈イ〉概ね良い評価 〈ウ〉やや悪い評価 〈エ〉悪い評価

を示している。その上で、私の経済入門の授業に対しては以下のような評価を得た。

まず、タイプ1に分類される項目「(7)先生の説明のわかりやすさ」、「(9)先生の授業の準備度合い」、「(10)先生の熱意や意欲」、「(12)「授業改善シート」を受けての授業改善の実施状況」について、項目(7)と(10)において、〈ア〉と〈イ〉を合わせたプラス評価がそれぞれ79%と88%を達成した。項目(9)についても73%がプラス評価を与えてくれたが、「あまり準備をしていない」という「やや悪い評価〈ウ〉」も27.3%を記録していた。非常に解せないところで、授業中に使用している指定教科書は私の執筆になるものであり、その意味ではこの上ない準備がされているはずである。項目(12)の結果は判断がやや難しい。上記の〈ア〉～〈エ〉で分ければ、〈ア〉〈イ〉の「プラス評価」が43.3%、〈ウ〉〈エ〉のマイナス評価が56.7%である。読みようによっては、教員が「授業改善シート」で示された学生の意見をあまり汲み取ってくれていないと見える。しかし、このコメントを書くに当たって再度「授業改善シート」をすべて読み直してみたが、授業内容の分量、授業のスピード、先生の声の聞き取りやすさ、話す速さ、板書文字の読み取りやすさなどほとんどの項目について、93%の人が「適切」「読みやすい」「聞き取りやすい」と答えている。授業の難度についてのみ、「難しい」と答える人が約35%いた。しかし私は、授業内容の難度については、やや難しいくらいが適当だと考えているので、この結果は特に改善点とは考えていない。むしろ、直接に教師の授業テクニックにかかわる部分が大事であり、「授業改善シート」において93%の人が私に合格点を与えていることに留意したい。したがって、本アンケートの項目(12)の評価が、一見マイナス評価(あまり改善されていない、全く改善されていない)が56.7%に及んでいるとしても、それは、「そもそも改善しなくても、現行のままでよい」と読むべきであろう。

タイプ2に分類される項目は「(14)学習意欲への刺激」、「(15)授業内容の理解度」、「(16)授業への満足度」、「(17)自己形成への役立ち度」、「(18)他学生へのお勧め度」が入る。〈ア〉〈イ〉を合わせたプラス評価が、全体として50～70%とすこし幅があるのと、(他の科目の)例年の評価に比べて全体的に低い値になっている。項目(15)と(16)がそれぞれプラス評価が70%、項目(17)が66%になっているので、教育サービスが責任を持つべき最低限の品質保証はできているのかなと思う。しかし、項目(14)や(18)のような学生が当該科目を通じて勉学に対して能動的になったかどうかについては、50～60%のプラス評価であるのはやや低い。

タイプ3に分類される項目「(4)シラバスは役に立ったか」、「(8)テキストやレジュメなど教材は役に立ったか」については、〈ア〉〈イ〉のプラス評価は、前者が50%、後者が70%であった。シラバスの役立ち度とは具体的に何を指しているのかわかりにくい。シラバスは授業開講に先立って、その科目の趣旨・目的、方法・手段、具体的メニューを示すものであって、科目の内容を書きつくすものではない。それはまさに本番の授業の役目であって、シラバスの役目ではない。その意味から「役立つ」ということの意味が誤解された向きもあったのではなかろうか。経済入門では本学のオリジナル・テキストが指定してある。「経済入門」の担当者本人の執筆になるものであり、分量や難易度、興味を喚起するテーマの選定、経済学という分野の魅力について、熟慮して書いたつもりである。経済学の性質上、どうしても数学の使用が避けられないが、数式はほとんど使わず、むしろ視覚的に理解できるように、図を多用している。おそらく学生諸君にあっては、その図も教科書のような「関数のグラフ」であるところに、とっつきにくさがあるのであろう。

タイプ4に分類される項目は「(1)出席の度合い」、「(2)あなたの積極性」、「(3)自習の程度」といった、学生自身の姿勢や態度を問うている点で、他のタイプと異なっている。「出席」に関しては約80% (〈ア〉〈イ〉の合計)の学生が「毎回出席している」「大体出席している」との回答であったが、私の手元控えでは、出欠調査回数11回(2009年1月13日時点)のなかで、履修者全体として約49.5%の出席率(=出席数/出欠調査回数)となっている。よく出席しているという学生の実感が、どの程度の出席率を認識しているのかわからないが、おそらくは、この授業評価アンケートに回答している人たちの多くが、出席率の高い学生であったと思われる。「積極性」については約67% (〈

ア><イ>の合計)が積極的だったと答えているが、本来それを裏付けるべきはずの「自習の程度」が比較的やっていたと答えたものを含めて(<ア><イ>の合計)わずか9.7%に過ぎない。授業への出席は積極的だった、ということなのだろうか。しかし、授業への出席は学生として最低限の義務であり権利であるはずだ。積極性とは単に出席すること以上のものでなくてはならない。せめて予習・復習が必要である。予習はともかく、復習やノート整理、指定テ

②評価に対する教員の思い

今回のアンケートの回答結果を見て、私が担当する他の科目と比較しつつ評価してみると、例年よりいささか平均点が悪い気がする。このコメントで検討対象とした全14項目のうち、プラス評価が70%を超えていたのは半分の7項目であった(例えば平成20年度日本経済論では11項目)。さらにプラス評価が90%を超える項目についてはゼロであった(平成20年度日本経済論では3項目)。とくに他の科目と授業の方法において違いをつけたわけではなく、むしろ今回アンケート対象となったのは1年生配当の入門科目でもあるから、いっそうわかりやすく解説することを心がけたつもりである。

やはり、原因を探るとすれば別の所か。経済学という学問、いや、学問というレベルのことは経済入門に関してはほとんど達していないのであるが、経営学や会計学、法学のように、その知識が実用的ですぐに使える(場面がある)わけではないのが、経済学の不人気の一因とされる。何をもって実用性というか問題のあるところだが、私の「経済入門」は、すくなくとも混沌とした国内外の政治経済問題、社会問題を読み解くための、極めて有用な、しかし経済学上これ以上ないくらい重要な理論的ツールを、これでもかこれでもかというほど豊富な例題とともに使いこなすための練習をしている。アンケートの自由記述欄に、「経済」自体、とりつきにくい感じがあるので、少し例を挙げながら説明してほしい」という学生からの意見があったが、私から見れば、これはきわめて不思議な意見である。指定教科書にそって授業はなされており、それゆえ経済の豊富な実例を通して経済理論の説明がなされているのであるから。さらに、マスコミで散見する経済評論の類が、この経済入門で解説される経済理論への無知のために、いかにおかしな議論となっているかにも言及している。経済学は、あたりにあふれる怪しい経済論議に振り回されずに自分で考えるための手助けになる、そういう有用性を持っているのである。

こういう信念で授業をおこなっているのだが、「学習意欲への刺激」や「授業への満足度」が70%程度のプラス評価にとどまっているのが、私としては逆に不思議である。90%に迫っていてもいいはずだ。経済学への不人気というよりも、学生諸君が経済や社会全般に対してもっている興味関心のひくさが問題なのであろうか。そのために、本学では「現代社会トピックス」のような時事問題への興味を引き出す科目が別途提供されているのだが。

③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

アンケートの回答から汲み取れる学生の現状を考慮しつつ、私が現在考えている改善点をいくつか列挙しておくたい。

1. 教科書指定の再検討

「経済入門」は指定教科書があり、それにそって授業を行ってきたが、内容の適切さ、難易度、授業を進める上での使い勝手の良さなどの点について、十分に考慮して作ってあるが、さらに見直しを進め、できれば以下の諸点について改善を図りたい。

①経済理論を説明するために使っている経済の「実例」の入替・追加。

②練習問題の入替・追加と、解答・解説の掲載。

③留学生への便宜で、専門用語や難読語に「読みがな」を付したり、「英文」を付す。

2. 小テストの実施

今年度は小テストを実施できなかったが、やはり期末試験だけでは毎回の授業の緊張感を保てないことが痛感できた。また、期末試験直前になって、一夜漬けでの勉強というのがほとんどの学生の実態であるから、授業期間中に小テストを何回か(おそらくは1テーマごとに)行って、学生諸君の勉強への注力を分散させたい。

3. スライド、書画カメラの活用

これは割り当て教室の設備次第だが、本学にはパワーポイント資料を映すプロジェクターや、書画カメラの設置してある教室(202、307など)がある。この教室に割り当てを受ければ、教科書の図表類をわざわざ板書することもなくなり、板書量はかなり減らせると思う。アンケートの自由記述に「板書量が多い」ことがあったが、これで対処できるはずである。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて公表します。

学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。